

平成26年度 事務事業評価調書（平成25年度実績分）

事務事業名	病児・病後児保育事業				
所管部局	子ども未来部	部局長名	山川 瑞代	予算事業名	病児・病後児保育事業費
所管部署	子ども育成課	所属長名	西村 浩代	予算事業科目(平成26年度)	010302011032

1 事業の位置付け

2011 高知市 総合計画・実施計画 施策体系での位置付け					
施策の大綱	03 育みの環	施策取組方針	子育てに係る負担を軽減するために、子育て家庭やひとり親家庭への支援を行うとともに、保育サービスや就学前教育の充実を図ります。 また、児童や保育環境の安全安心を確保するため、保育所の耐震化や施設の老朽化に伴う改築・改修等を推進します。		
政策	14 子どもを生み育てやすい環境づくり				
施策	40 子育て支援の充実				

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令	保育対策等推進事業（病児・病後児保育事業・同実施要綱）	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知市病児・病後児保育事業実施要綱	
その他（計画、覚書等）		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	病気の回復期に至っていない、もしくは回復期で、集団保育が困難であり、かつ保護者の勤務等の都合により家庭で保育を行うことが困難な児童で、市が必要と認めたおおむね10歳未満の児童		
意図	どのような状態にしていくのか	市長が指定する医療機関等において、当該児童を保育する		
手段	事業実施体制等	業務委託	事業開始年度	平成8年度
			事業終了年度	—
活動内容	どのような事業活動を行うのか	事前登録の後、児童の主治医による診断を受け利用。原則7日まで継続可能。保育士と看護師が、医師とも連携しながら専用スペース等において児童の保育を実施（月～土8:00～18:00、昼食・おやつあり）。利用料金（利用者負担額+食費等）は保護者が実施施設へ直接支払い、行政からは実績による委託料の支払となる。		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	利用登録者数（人）	事業の浸透具合や実績数から把握する	
	B	延べ利用者数（人）	施設数、施設の定員、施設の受け入れ実績から把握する	
	C			

4 事業の実績等

		23年度	24年度	25年度	26年度（計画）	備考欄		
成果指標	A 利用登録者数（人）	目標	140	400	500	600	平成24年度から事前登録を開始	
		実績	148	419	662			
	B 延べ利用者数（人）	目標	1,300	1,350	1,500	1,600		
		実績	1,370	1,387	1,654			
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額（千円）	15,042	17,606	24,364	25,058	平成26年度は当初予算額	
		財源内訳	国費（千円）	5,223	6,000	6,088		8,352
			県費（千円）					
			市債（千円）					
			その他（千円）					
			一般財源（千円）	9,819	11,606	18,276		16,706
	翌年度への繰越額（千円）							
	② 概算人件費等	人件費等（千円）	3,600	4,070	4,380	3,888	平成25年度1施設新設	
		正規職員（千円）	3,600	4,070	4,380	3,888		
		その他（千円）						
		人役数（人）	0.50	0.55	0.60	0.54		
		正規職員（人）	0.50	0.55	0.60	0.54		
		その他（人）						
総コスト=①+②（千円）	18,642	21,676	28,744	28,946				
市民1人当たりコスト（円）	55	64	85		総コスト/年度末人口			
年度末住民基本台帳人数（人）	337,875	338,397	336,845					

## 5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

利用登録者数は年々増加しており、平成25年8月には実施施設を1施設新設した。保護者ニーズへの対応は一定出来ていると考える。今後も利用登録者数の増加が見込まれており、実施施設の増設に取り組む必要がある。

## 6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① 〔施策体系等での位置付け〕 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	本事業は、保護者の子育てと就労等の両立を支援するとともに、児童の福祉の向上を図ることを目的としており、本市総合計画に掲げる「子どもを生み育てやすい環境づくり」の趣旨に合致している。 また、利用登録者数が増加していることから、本事業のニーズは高いと考える。
	② 〔市民ニーズの傾向〕 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ 〔成果の達成状況〕 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	4.0	利用登録者数及び延べ利用者数共に増加傾向にあり、成果指標の目標は概ね達成できている。 また、活動内容についても、保護者のニーズに合っていると考える。
	④ 〔事業の手法・活動内容〕 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ 〔アウトソーシングの可能性〕 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	本事業は、医療機関（細木病院・三愛病院・もみのき病院）及び保育所（うららか保育園）に委託して実施している。 利用件数の増加に伴い、委託費の総額は増額となっているが、事業は適切なコストで効率的に実施されている。
	⑥ 〔事業統合・連携・コスト削減〕 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ 〔受益者の偏り〕 事業の受益者が特定の個人（団体）等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	市のホームページや、子育て情報をまとめた冊子「ばむ」などへ掲載し事業紹介を行っており、公平性は保たれている。 国の補助事業（1/3）であり、負担割合は妥当と考える。
	⑧ 〔受益者負担の適正化〕 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	19.0	総合評価	○ A 事業継続 （総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合） B 改善を検討し、事業継続 （総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合） C 事業縮小・再構築の検討 （総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合） D 事業廃止・凍結の検討 （総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合）		

## 7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	子育てを支える事業として、保護者ニーズに対応し、さらなる事業の充実を図るよう努める。
B 改善を検討し、事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

## 8 特記事項

（行政改革推進委員会 平成26年8月25日）  
・働く女性にとっては素晴らしい良い事業であり、今後も継続していただきたい。

（9月議会定例会厚生常任委員会 平成26年9月19日）  
・病児・病後児保育事業の拡充は容易ではないと思うが、ニーズは高いので国の要件を十分精査したうえで、早期の拡充をすること。